

第8回伊那市誌編さん委員会議事録

開催日時	令和4年5月9日（月）13時30分～16時05分
場所	伊那市役所 多目的ホール
出席者	編さん委員：19名（欠席：1名） 事務局：教育長、教育次長、市誌編さん室長、担当
会議目的	市誌編さん事業の説明及び部会進捗状況の報告、コロナの取り扱い及び市誌のデジタル化と資料収集についての意見交換

【会議事項】

- 1 部会進捗状況の報告
- 2 市誌のレイアウトについて
- 3 コロナの取り扱いについて
- 4 市誌のデジタル化について
- 5 資料収集について
- 6 年表の取り扱いについて
- 7 その他

【会議内容】（討議、意見交換による検討事項、決定事項）

1 部会進捗状況の報告

各部会は、今回の報告と挙げた意見を参考に編さん事業を進める。

<検討課題>

- ・通史編の名称について引き続き検討する。（概説部会）
- ・年表、三峰川総合開発の扱いについて検討する。（政治行政部会 他）
- ・調査等に関する人的体制の枠組みを早急に整備する。大きくは、協力員、執筆者、調査員という分け方になるか。（事務局）
- ・資料収集について、購入の必要がある資料は編さん室の予算の範囲で対応するが、不足する場合は補正予算も視野に入れる。（事務局）
- ・多岐にわたる項目があり、他分野との調整が必要になる。（産業経済部会）

<決定事項>

- ・各部会は今年度中に各編の項目立てを決め、編さん委員会でコンセンサスを得ることを目標とする。
- ・コピー代、プリンターのインク代等、必要な経費について事務局に申し出る。（委員長）

2 市誌のレイアウトについて

レイアウトの詳細について早めに決定していく。

<検討課題>

- ・段組みを1段とするか、2段とするのか。書字方向は原則横書きと決まっているが、引く続き各部

会で検討し、編集会議において集約する。(事務局)

- ・文字はMS明朝、11ポイントで進めてきているが、見出しや小見出しについては別途検討する。(事務局、委員長)
- ・余白の取り方、コラムや引用文献の扱いなど、事務局で検討し提案してほしい。(副委員長)

3 コロナの取り扱いについて

新型コロナウイルス感染症のまとめ方について、各部会の意見等を聞きながら検討していく。

<検討課題>

- ・最後にコロナ編という形でまとめることをこの場で決めたほうがよい。分量が少ない場合は資料編とすることも考えられる。統括会等で項目立ての原案を作成してほしい。(委員)
- ・資料散逸を防ぐためにも、分冊とすることを決めておき、早めに資料を取集しておく必要がある。(委員)
- ・コロナだけでなく、人類史の中での感染症という視点で考えていく必要があるのではないか。伊那市誌でも、疾病、感染症という観点を含めてコロナの問題を扱っていくことが重要である。私なら、「コロナ感染と対応ー感染症の歴史の中でー」とするとよい本になると考える。(副委員長)
- ・コロナや感染症が社会や市民にどんな影響を与えたのか、将来検証できるようなデータを残しておくことが大事。時系列的に伊那市でどういうことが起き、どう対応したかきちんと記録しておくことが重要である。(委員)
- ・将来に資するものにするためにも、疾病やウイルスとの闘いを検証し、今回のコロナについてしっかりまとめておきたい。(委員)
- ・行政や学校等での対応はよくわからないので、どう整理していくか概説部会等で考えてもらい、各部会で積み上げていければと思う。(委員)

<決定事項>

- ・各部会でコロナの影響を受けたことを抽出し、随時事務局に提出する。(事務局)
- ・コロナの扱いについて事務局・統括会で検討し、次回の編さん委員会で提案することとする。(委員長)

4 市誌のデジタル化について

何をどんな形でデジタル化するなど、具体的な検討を進めていく。

<検討課題>

- ・今は新聞をネットで見る時代なので、デジタル化は避けて通れない。(委員)
- ・市誌がネット上でのみ公開という時代になりつつある。例えば、東京都豊島区の「豊島ヒストリー」。伊那市誌もより多くの方に利用してもらおうという面では、デジタル化は有用であり、これからの時代に必須と考える。デジタル化の方針は先送りせず、できるだけ早く確定して各分野の項目等を決定し、複層的な検索システムを作り上げていければと思う。(委員)
- ・民俗分野の行事などは、デジタルの映像を基に文章を書いていくのか、それとも文章だけにするのか、その辺りをどう考えればよいか。(委員)

- ・今回の伊那市誌は紙媒体が主という方針で進めている。豊島ヒストリーは紙媒体が無いということであり、伊那市誌とは方向性が違うと感じている。ただし、ダイジェスト版を作るかなど、デジタル化の方向性はできるだけ早く進めていきたい。(委員長)
- ・デジタル化については、畑委員、伊藤委員を中心に考えてもらってはどうか。今後統括会でも検討していきたい。(副委員長)
- ・基本的なデータを収集し、デジタル化して公開するという側面と、それを噛み砕いて読み物として公開していく側面は、段階を追って整理していかないと混乱が生じる。(委員)

5 資料収集について

多様な方法で資料の収集を進める。

<検討課題>

- ・市は「第2次伊那市総合計画」「伊那市都市計画マスタープラン」等、様々な計画を出している。市誌を編集する際、市の考え方をしっかり押さえて整合を図っていかなければならない。(副委員長)
- ・販売面等を考えた場合、市内の中学生にどんなことを知りたいかなど、アンケートを取ることを検討してみてはどうか。(副委員長)
- ・事務局から公民館主事への依頼という形で、各自治区における資料の保存状況の確認をしてほしい。その他、官公署等にも様々な資料があるので積極的に収集していきたい。(副委員長)

<決定事項>

- ・事務局は地域の史資料の保全・活用体制の検討を進める。(事務局)

6 年表の取り扱いについて

年表の取り扱いについて引き続き検討を進める。

<検討課題>

- ・事務局から提供された各種年表をどのように整理、編集していくのか。さらに、書かれていることが事実として正しいのかも検証しなければならない。(委員長)
- ・伊那市歴史文化基本構想の年表には年代等の誤りが幾つもある。学芸員の方に点検・修正をお願いしたい。(委員)

7 その他

<検討課題>

- ・伊那市誌はできるだけ息づかいが感じられるものにしていきたい。そのためには、弱者や高齢者、子どもにも目配りしていかなければならない。(副委員長)
- ・市議会や市民の中で市誌を作る意義を共有していかなければならない。その前提として、編さん委員会のメンバーが共通意識を持つことが重要である。(副委員長)
- ・調査体制等、先行の市町村に直接聞き取りを行いたい。(委員)
- ・先行市町村との交流は、今後コロナの様子等を見ながら、全体ではなく要望のある部会単位で実施することを検討していきたい。(委員長)

- ・市報への掲載は、市誌編さんの進捗状況が分かるように毎月お願いしたい。情報発信、情報収集という点で積極的に活用していきたい。(委員)
- ・広報という面では、ケーブルテレビの活用も考えられる。(委員長)

【諸連絡】

○次回（第9回）編さん委員会

7月26日（火） 13時30分 市役所多目的ホール

○第1回編集会議

5月23日（月） 13時30分 市誌編さん室